

受講料  
無料

2018年度 文教大学市民フォーラム

ぼくたち、わたしたち、

# 英語を話せるようになるのだからか？

— 小学校英語の教科化(2020年)を契機に考える —

2018年 **9月8日(土)** 13:30 ~ 15:30

会場 文教大学 越谷キャンパス

## シンポジスト

青春の蹉跎 : あの時英語が話せていたら

文教大学文学部教授 **鈴木 健司**

英語で話すには : 「思い込み」からの解放

文教大学文学部准教授 **渡辺 敦子**

責任と至福 : 英語という現実を

文教大学文学部准教授 **グラハム 児夢**

司会 文教大学文学部教授 **鈴木 健司**

受付開始 **8月1日(水) ~** (申込順・定員になり次第締め切ります) **定員 200名**

申込方法 下記のいずれかの方法でお申込みください。  
お申込み受付後の結果を、開催日の10日前から順次郵送にてお知らせいたします。

インターネット 生涯学習センターホームページよりお申込みください。

はがき はがきに「市民フォーラム申込」と住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号を明記の上、生涯学習センター宛にお送りください。

FAX 裏面の「受講申込FAX用紙」をお送りください。

## 問合せ先

# 文教大学生涯学習センター

文教 生涯 検索

☎ **0120-160-449** [固定電話のみ]

TEL 048-974-8811 [代表] FAX 048-974-8878

住所 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

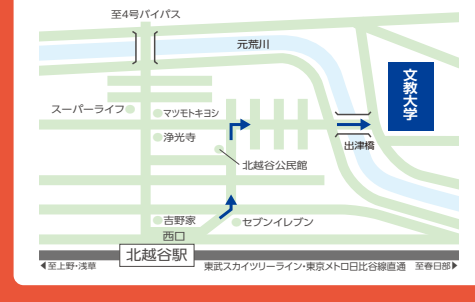
HP <https://shougai.bunkyo.ac.jp/>

メール [kshougai@stf.bunkyo.ac.jp](mailto:kshougai@stf.bunkyo.ac.jp)

## 交通のご案内

東武スカイツリーライン・東京メトロ日比谷線直通  
北越谷駅下車 徒歩約10分

駐車できるスペースがありませんので、お車・バイク以外の交通手段をご利用ください。



# 2018年度 文教大学市民フォーラム

2020年度から、小学校英語が教科化(5・6年生)されます。教科書も作成され、評価の対象にもなります。英語を話せない現場の教員が、どのように英語を教えるのか?問題は山積みです。しかし、アジア近隣諸国の英語教育を見るなら、日本だけ英語を避けて通ることのできない状況にあることも、確かなことのようにです。

小学校英語に限らず、日本人はこれから英語とどのように接していけばよいのか、英語教育・英語コミュニケーションの専門家と素人同士の会話が、議論を盛り上げていきます。

## シンポジスト

### 青春の蹉跎:あの時英語が話せていたら

文教大学文学部日本語日本文学教授 <sup>すずき けんじ</sup> 鈴木 健司

わたしたち(戦後・昭和世代)は、それなりに一生懸命「英語」の勉強をしてきたように思います。しかし、どうして「英語」が話せないのでしょうか。ハリウッド映画も日本語字幕がなければ楽しむことができません。教育制度が悪かったのでしょうか。それとも、「英語」の先生が悪かったのでしょうか?究極のところ、わたしが「××」だっただけなのでしょう。

それでもわたしは「英語」を話せるようになりたい。そのようなつまらないことを宮沢賢治研究の合間に、40年間も考え続けてきました。「英語」が話せるようになるか否かは、頭の良し悪しとは関係ないことを証明したいと念願しています。

#### プロフィール

早稲田大学教育学研究科修了 教育学修士(早稲田大学) 博士・学術(早稲田大学)  
高知大学人文学部教授を経て、文教大学文学部日本語日本文学教授  
日本近代文学が専門で、なかでも宮沢賢治作品の研究を中心に研究を進めている。

### 英語で話すには:「思い込み」からの解放

文教大学文学部英米語英米文学科准教授 <sup>わたなべ あつこ</sup> 渡辺 敦子

英語で話すために「思い込み」から解放されるには、まず「思い込み」に気づくことが重要でしょう。教壇に立ち、英語を使ってきた経験をもとに英語を話す際の私達の「思い込み」を挙げてみました。例えば1. 英語は「ネイティブ」と話すもの、2. 発音はきれいでなければならない、3. 英語が通じないのは自分のせい、4. 自分の英語の間違いは「間違い」、5. 英語は若いうちに学ばないとだめ、などです。当日、参加者の皆さんと「思い込み」について考えることを楽しみにしています。

#### プロフィール

米国コロンビア大学ティーチャーズカレッジ修了 英語教授法修士。英国ロンドン大学教育学部より博士号(Ph.D.)を取得。国際基督教大学英語教育課程で20年間教鞭を取った後、文教大学文学部英米語英米文学科准教授。専門は振り返り(リフレクション)における教師、学生の成長。

### 責任と至福:英語という現実を

文教大学文学部英米語英米文学科准教授 <sup>じむ</sup> グラハム 児夢

子どもとのいうのは、目に見えるものしか意識しないように見える。「英語」は遠いイギリスという小さな島国で生まれた言葉なのに、何故、学校で勉強する外国語はフランス語でも、ドイツ語でも、スペイン語などでもないのか。はたして、子どもはこのような疑問を持っているだろうか。もし、子ども(大学生も含む)に英語を学習させるなら、早い段階で世界史における英語、そして英語における自分を痛感させる包括的な教育をより磨く必要があると考える。そうすれば、「英語」は単なる教科のイメージから脱皮するのではないか。

#### プロフィール

母校はシアトル市にあるワシントン大学。中国現代文学を専攻したが、興味があまりにも多すぎた為、卒業するまで4年以上かかりました。私は大学を休学し、台湾の国立師範大学に2年間留学しました。卒業後中華人民共和国の広西チワン族自治区にある農学院で英語教員として教鞭をとりました。その後大学院修了。日本国籍をもっています。

司会 鈴木 健司

## 2018年度 文教大学市民フォーラム 受講申込FAX用紙

フリガナ		男・女	年 齢
氏 名			歳
住 所	〒 — —		
電話番号	— —		

FAX送付先: 文教大学生涯学習センター

FAX: 048-974-8878